

お茶の間交信



保育者からのメッセージ!



新年度がスタートして3カ月が経とうとしています。大人も子ども達も新しい環境に慣れて、少し心に余裕が出てきた頃ではないでしょうか。

さて、年度初めの何かと忙しい中で、お子さんの園での様子、気になることや心配なことはどのようにして、誰に聞いていますか？ 園の先生から聞く、子どもに聞く、送迎の時に直接聞く、連絡ノートを使って聞く、電話して聞くなど、様々な方法があると思います。そして、お子さんの年齢によっても変化していくものですよ。

0歳から3歳くらいまでは、お話しするのがうまく出来ないの、先生や保育をしてくれる大人に聞くこととなります。3歳以上のお子さんは、お話し上手になるため、まずは子どもに聞くという方も多いのではないのでしょうか。帰宅後すぐに、お母さんやお父さんの顔を見て聞いてもいないのにお子さん自らがお話をする場合もあれば、「今日は何をしてきたの?」「誰と遊んできたの?」「楽しかった?」と、お子さんから聞き出す場合もあると思います。そんな時に園での様子を心配するあまり質問しすぎていませんか?あまり心配し過ぎると、お子さんは思い出すことや答えることがストレスになることもあるようです。

あるご家庭では、おとなしいお子さんが心配で「今日は誰と遊んできたの?」「その次は誰と?」と1日の様子を事細かに質問していたそうです。そのお子さんは毎日続く質問攻めが嫌になり、「誰とも遊んでいない」「楽しくなかった」と答えるようになっていき、この答えが続きさらに心配を深めたご家庭から園に相談があり判明しました。園では、お友達とかかわりあい遊んでいることをお伝えしたところでした。

また、園バスで通園されているお子さんの場合、迎えに出てくれるおじいちゃん、おばあちゃんに話したいことを全て話してしまい、お母さんやお父さんが帰宅する頃には話したい気持ちがすっかり落ち着いているというようなこともありました。何があったのか知りたいお母さんは、夕方面倒をみているおばあちゃんに話を聞くことにしたそうです。

お母さん・お父さんは、園で楽しく過ごしてきてほしいと願うものですよ…だから、みんなと仲良く遊んでいるのだろうか?みんなと一緒にいろんなことを出来ているのだろうか?と心配になる。お子さんのことを思うご両親なら当然のことと思います。

その心配の答えをお子さんに求める時には、質問攻めではなく、答えたくない時には答えなくてもいいよという気持ちを心のどこかに持ちながら、お子さんの様子を見ながら聞いてみてください。最初の質問で答えたくなさそうであればそこで止めたり、ホッとできるお風呂の時に聞いてみるのもいいかもしれませんね。また、寝る前お布団に横になりながら今日の出来事について聞いてみるのもおすすめです。そして、忙しそうだから聞きにくいなどと遠慮せず、心配していることを何でもいつでも、ぜひ園の先生に聞いてみてください。

最後になりますが、大人は『楽しく過ごす』=『お友達とたくさん遊ぶ』と考えがちですが、必ずしもそうではありません。1人で遊びたい時だって大いにあることです。低年齢に限らず、年長のお子さんにも見られます。

一人遊びでも、一人で遊んでいることを楽しんでいる時もあれば、お友達が遊んでいる様子をじ〜っと眺めている遊びもあります。この場合は、お友達が遊んでいるのを見て、自分自身も遊んでいるように感じるイメージを使った遊びです。また同じ空間で同じような遊びをしながら一人遊びをしていることもあります。直接的なかわりは少なくても、相手の遊びをこっそり取り入れたり、一緒にいる安心感を味わっていることがあります。

お友達とのかかわり方には個人差があり、お子さんの性格によっても違ってきますし、赤ちゃんの頃から保育園などで多くのお友達と過ごしてきたお子さんと家庭の中で育ちお友達との接点が少なかったお子さん、兄弟がいるお子さんとそうでないお子さんでも違うところがあり、これまで育ってきた生活環境によっても大きく違うものです。また周囲とのかかわりの発達には年齢によるものも大きいのですが、周囲の人とどのようなかかわりをしてきたかによっても変わってきます。発達障害などが根底にあって、特別な配慮が必要なケースもありますが、多くの場合、誰かに自分の思いを受け止めてもらったり、気持ちを分かってもらったりする経験を積み重ねる中で、周囲への関心の持ち方が変わっていきます。まずはお子さんが周囲の人にたくさん思いを受け止めてもらい気持ちを分かってもらうことで、分かってもらえてうれしいな、楽しいなと感じることが大切になるということですね。

この1年間がお子さんご家族にとって安心できる園生活になりますように…





知ってた？ “子どもの混浴の年齢制限”

ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の心配から、家族旅行にも行けずにじっと我慢の期間でした。まだまだ油断はできませんが、行動制限も少しずつ緩和され、「久しぶりに家族で旅行に行きたいな！」などと思っているご家庭もあるのではないのでしょうか。

そこで知っておきたいのが、『公衆浴場での子どもの入浴・混浴』についてです。

平成27年12月のお茶の間交信でも取り上げたテーマです。その際の情報がアップデートされたので、皆さんにお伝えします！



子どもの混浴 何歳までOK？

(平成27年12月のお茶の間交信では)
公衆浴場法では、混浴の年齢制限は、「おおむね10歳以上」。京都府では6歳まで、熊本県は8歳、山形県の条例では11歳までとなっていました。

(情報アップデート)

公衆浴場法を所管する厚生労働省が、2020年12月に混浴制限年齢をこれまでの10歳以上から7歳以上の男女を混浴させないこととするよう通知しました。これは、子どもの発育状況などを考慮したものだということ。混浴制限の年齢引き下げは、子どもを守ることにもなります。性教育の専門家は、「子どもの混浴には性別に関係なく慎重になって欲しい。」と呼びかけています。年齢に加え、「7歳以上または身長120cm以上の子どもは混浴できない」など、独自のルールを設ける施設もあるようです。
※公衆浴場法…都道府県などの自治体が公衆浴場の衛生、風紀に関する基準を定める条例。

POINT

混浴も心配だけど、子どもだけの入浴もまだ心配だという方は、『家族風呂』がある施設を選ぶなど、事前に確認しておくとうれしいですね。



教えておきたい！ 子どもの入浴マナー

公衆浴場などで心得ておきたいこととして、

1. 脱衣所や浴場でスマホを使わない。
2. 浴場では騒いだり、走ったり、大声を出して人に迷惑をかけない。
3. 湯船にタオルを入れない。湯船につかる前に体を洗う。
4. タオルを絞って体を拭いてから脱衣所に戻る。
5. 「プライベートゾーン」(水着を着ると隠れる部分)は、簡単に見せたり触らせたりしない。

POINT

混浴制限年齢が7歳とのこと。ひとりで入浴を済ませることができるようになるかもしれませんね。子どもがひとりで体を洗う場合は、完璧でなくても良いという気持ちも大切。また、タオルを絞る練習も必要かもしれません。

詳しくは、園児をとおして案内チラシを配布します。

中央コミセン

夏まつり 交流会



7月30日(土) Am10:00~12:00
交流センターふらり テニスコート

縁日コーナーや水鉄砲あそびなどを
予定しています♪



いよいよ梅雨にはいります



じょうずにかさをもさせるかな



お茶の間交信クイズ

混浴制限年齢 〇歳以上の男女混浴はさせないこと

正解者の中から抽選で「菜なポート」の商品券を進呈します。クイズの答え、住所、氏名、年齢、お茶の間交信に対するご意見等を『ハガキ』に書いて、お寄せ下さい。答えのヒントは、交信の中にありますよ!!

※〒993-0002 長井市屋城町6-53 中央コミセン「お茶の間交信クイズ」係

※締め切り 令和4年7月15日(当日消印有効)

※当選者の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

料金受取人払郵便

長井局承認
473

差出有効期限
令和5年5月
31日まで

〒993-8790

長井市屋城町6番53号

長井市中央コミュニティセンター
お茶の間交信返信 行



9938790

